



スマート
ウェルネス
コミュニティ

糖尿病予防を目的とした 宿泊型新保健指導(スマート・ライフ・ステイ) プログラム開発

あいち健康の森健康科学総合センター
(公財)愛知県健康づくり振興事業団
栄口 由香里

糖尿病が疑われる者等を対象として、ホテル、旅館などの**宿泊施設**や**地元観光資源**等を活用して、**医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士等の多職種が連携**して提供する新たな**保健指導プログラム**

宿泊型新保健指導(スマート・ライフ・ステイ)プログラム



〈メリット〉

- ①快適な環境でやる気向上
- ②集中的な保健指導で効果向上
- ③将来的な重症化を予防

〈目的〉

健康増進、健康・観光産業の発展、
医療費適正化を同時に実現

スマート・ライフ・ステイは多職種・多業種連携

効果的、実践的な保健指導の実施⇒健康寿命の延伸
地域の活性化、ヘルスケア産業の健全な育成

新しいプログラムの共同開発

今まで効果が上がりにくかった対象者への保健指導

・専門職による保健指導

- 体験学習の中でより重点的な保健指導を経験できる
- 参加者の疑問・実態を知る
- 多職種連携により、指導の幅が広がる
- 研究班との共同作業により効果的な保健指導方法を学習する機会が増える
- 健康な環境づくりに貢献できる



・宿泊施設

- 新たな宿泊スタイルの開発
- 健康的な食事を管理栄養士等と考案、新たなウリに
- 身近な自然や施設の利活用等
- 医療保険者や保健指導実施者等とのネットワーク

研究組織（多職種連携に対応した研究体制）

研究者名	所属研究機関	専門・役割
津下一代	あいち健康の森健康科学総合センター（医師）	統括
矢部大介	関西電力病院糖尿病・代謝・内分泌センター（医師）	糖尿病
村本あき子	あいち健康の森健康科学総合センター（医師）	肥満・予防医学
小熊祐子	慶應義塾大学スポーツ医学研究センター（医師）	スポーツ医学
佐野喜子	神奈川県立保健福祉大学（管理栄養士）	栄養・食生活
樺山舞	大阪大学大学院医学系研究科（保健師）	地域保健
荒川雅志	琉球大学観光産業科学部観光科学科	観光学
八谷寛	藤田保健衛生大学・医学部（医師）	疫学・統計

研究協力者	所属研究機関	職名
田畑尚吾	慶應義塾大学 医学部スポーツ医学総合センター	医師
松下まどか	あいち健康の森健康科学総合センター	
栄口由香里	あいち健康の森健康科学総合センター	保健師
廣瀬直樹	関西電力病院糖尿病・代謝・内分泌センター	管理栄養士
中村誉	あいち健康の森健康科学総合センター	
安田実加		
野村恵里		
加藤千晶		健康運動指導士

運営マニュアルの作成

(運営作業手順書)

- **プログラム全体のマニュアル**

企画コンセプト、主な運営者の要件、対象者の選定方法と基準、
内容、安全対策、緊急連絡先等
スケジュール管理

- **各セッションの実施マニュアル**

保健指導内容・教材・ツール、食事・運動プログラムの基本骨格
フリータイム、アクティビティ

- **継続的な支援方法、評価法**

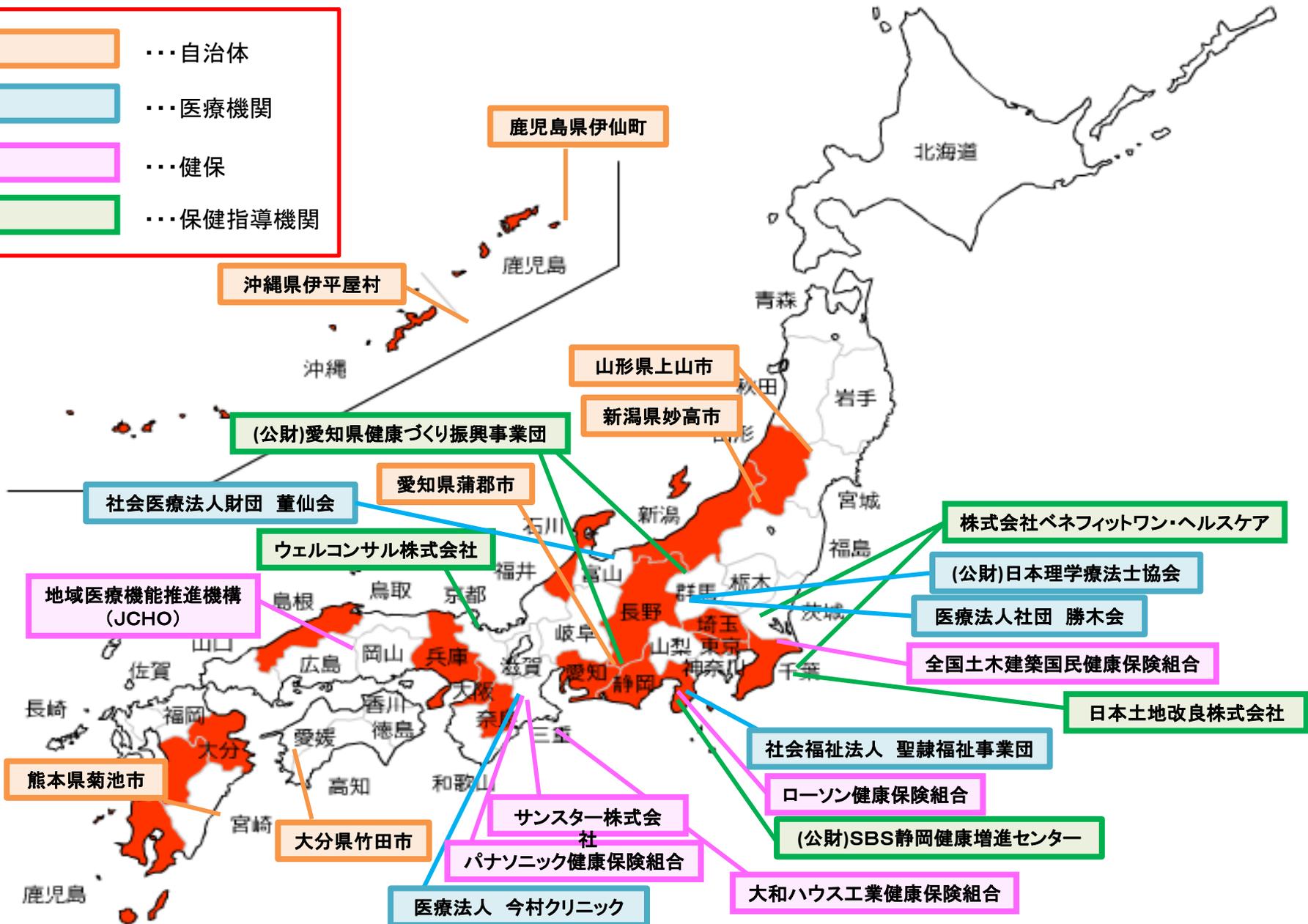
保健指導実施者間の連携、宿泊中の保健指導と
その後 の継続的な保健指導の連携、共有のツール

- **保健指導プログラムの評価方法**

- **個人情報保護、倫理審査**

厚生労働省試行事業 実施機関(23機関)

- …自治体
- …医療機関
- …健保
- …保健指導機関

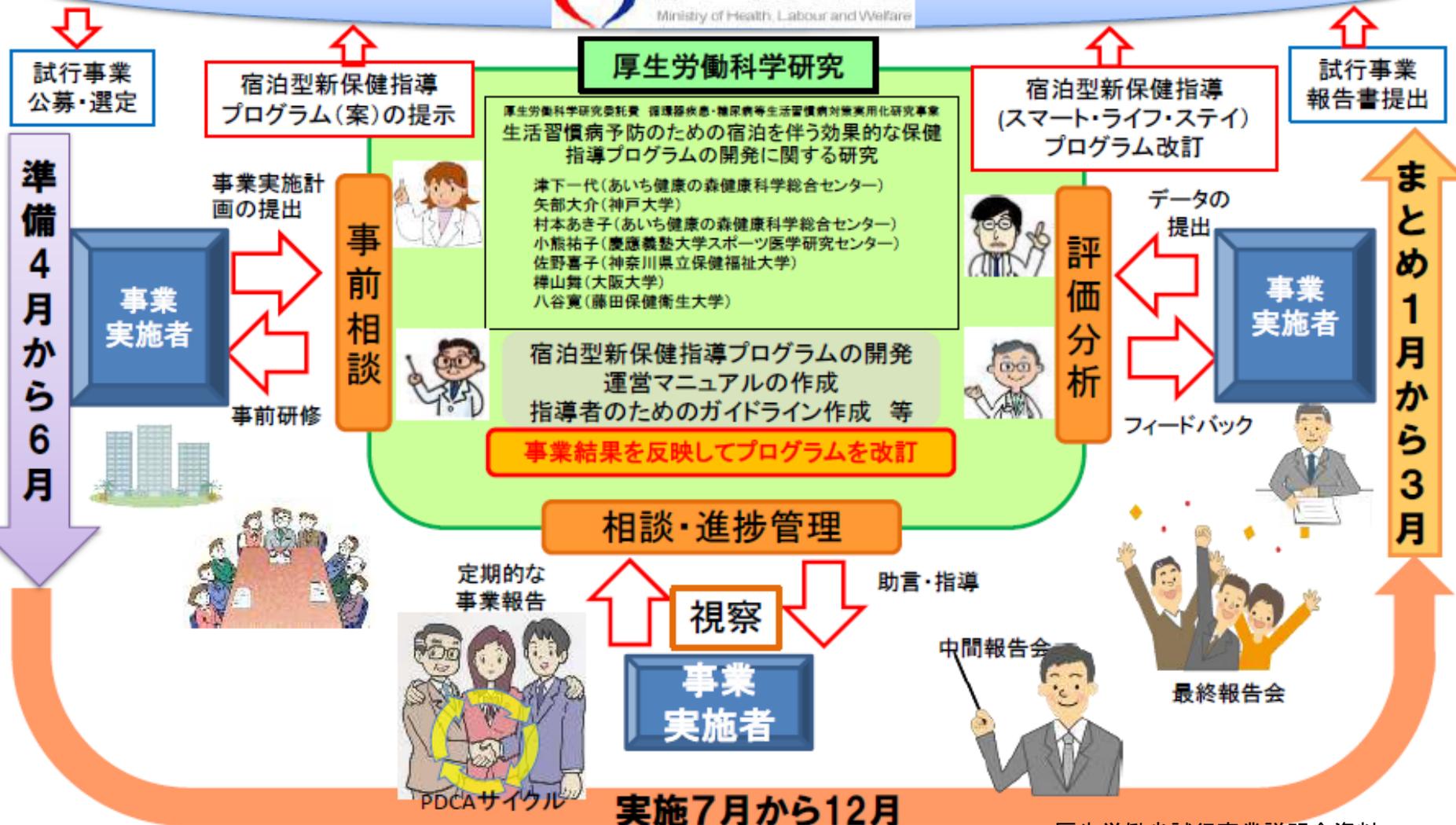


平成27年度宿泊型新保健指導試行事業の実施体制

資料 2

試行事業と厚生労働科学研究班の役割

【担任制】分担研究者がそれぞれ事業実施者を担当 【保健指導実施者等の事前研修会の実施】 【事前相談】
 【進捗管理】定期報告に基づく助言・指導、進捗管理及び視察 【評価分析】提出データに基づく科学的指標の分析・評価 等



進捗管理と研修会開催

様式A-1

プログラム事業評価シート(サマリー) プログラム名称() 宿泊地() (泊日) NO.

実施主体 機関名() 運営責任者() 保健指導プログラム管理者()

実施時期	内容	事業企画・立案															事業実施										評価																																									
		様式A-2										様式A-3					様式A-4					様式A-5					様式A-6					様式A-7																																				
		事前準備	全体企画案作成									宿泊プログラム作成 各種作業手順書作成					宿泊プログラム 運営準備					宿泊プログラム 保健指導準備					宿泊プログラム 実施中					宿泊 終了時					事業 報告					継続 支援					中間 支援					中間 報告					終了 支援					終了 報告					事業評価	
項番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	34	35	36	37	38																									
実施機関()	実施項目	各責任者を設定し、チーム形成を行っている	研究班による研修会を受講している	研究班との事前相談をしている	宿泊施設・観光施設との調整をしている	保険者との調整をしている	データの取り扱いについて取り決めをしている	関係者と調整してスケジュールを立てている	事業に必要な予算について取り決め、契約を交わしている	研究班への計画書提出・倫理審査を行っている	宿泊型の保健指導プログラムを立案している	観光プログラムを立案している	継続支援の方法を確認している	具体的な実施手順を明らかにし、関係機関で情報を共有している	関係機関と連携調整の上、実施体制を構築している	計画に基づいた参加者の募集をしている	保険加入をしている	保健指導教材の準備・作成をしている	参加者の情報収集を行っている	事前カンファレンスを実施している	安全管理に留意している	個人情報適切に管理している	事後カンファレンスを実施している	宿泊プログラム内容の見直しを行っている	研究班への初回報告をしている	「標準的な健診・保健指導プログラム」(出典：厚生労働省健康局)に準じて、中間支援・評価を行っている	「標準的な健診・保健指導プログラム」(出典：厚生労働省健康局)に準じて、継続支援を行っている	研究班への中間報告をしている	「標準的な健診・保健指導プログラム」(出典：厚生労働省健康局)に準じて、最終支援・評価を行っている	研究班への終了報告をしている	事業評価を実施している	事業結果をとりまとめている	次年度計画等に向けた改善点を明確にしている	1年後の評価を実施している	研究班ヘデータを出している																																	
準備中	実施中																																																																			
修正中	完了																																																																			

4/17研修会

6/29運営マニュアル研修会

9/15中間報告会

2/9最終報告会



厚生労働省ホームページ

宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/sls/index.html>

研究班ホームページ

リンク

平成27年度 日本医療研究開発機構研究費

（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業）

生活習慣病予防のための

宿泊を伴う効果的な保健指導プログラムの開発に関する研究

～宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム～

<http://tokutei-kensyu.tsushitahan.jp/sls/>